

訪問看護ステーション あざぶだより

Vol. 03

2022年11月号

いつもお世話になっております。訪問看護ステーションあざぶです。ひと雨ごとに、気温も下がり、すっかり秋らしい気候となりました。体調を崩しやすい時期ですので、どうぞご自愛下さい。あざぶだよりでは、引き続き、訪問看護支援の内容を紹介をさせていただきます。どうぞよろしくお願い致します。



転倒予防・転倒時の対応の支援紹介

在宅生活の継続が困難になる要因の1つに、転倒があります。訪問看護・訪問リハビリでは、①転倒予防②転倒時に自力で立ち上げられる③転倒時の介助により介護者が腰痛を起こさない。の3点を中心にアプローチしています。

① 転倒予防

転倒予防としては、ご本人の筋力や活動の強化のためのリハビリと環境調整があります。環境調整は、玄関マット、コード類などひっかけやすいものの撤去や、椅子やベッドの高さ調整、タッチアップや手すり等の設置、片麻痺や半側空間無視などの症状のある方は、物の配置や動線の助言をするなどしています。

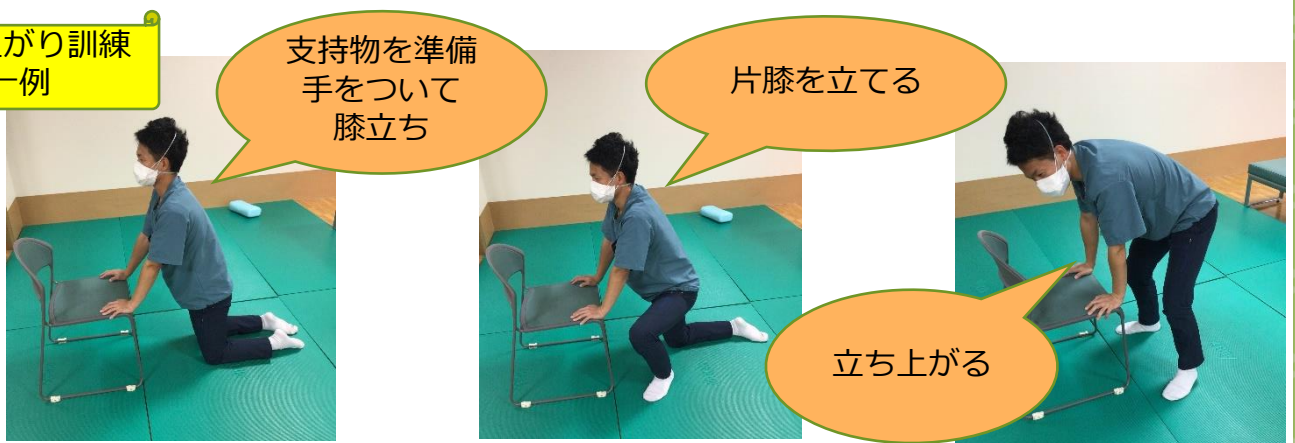
② 転倒時の立ち上がりへの指導（本人）

転倒してしまったときは、パニックになっていることが多いです。頭で理解していても、パニック状況ではできないことがあります。そのため、頭で考えなくても自然と体が動くように、訪問の度に練習して体得できるようにしています。

③ 転倒時の立ち上がり介助指導（家族など）

転倒時に立ち上がりの介助をご家族がすることによって、介助者が腰を痛めるケースが多くみられます。そのため、転倒が予測されるシチュエーションを考え、つかまる場所や、起き上がらせ方などを実際にやって、イメージできるようにしています。

立ち上がり訓練 一例



医療法人 札幌麻生脳神経外科病院

訪問看護ステーションあざぶ TEL011-712-0085

訪問地域：北区、東区 従業員：看護師、理学療法士、作業療法士

介護保険・介護予防訪問看護：緊急時訪問看護加算・特別管理加算・ターミナルケア加算

医療保険：24時間対応体制加算・特別管理加算

営業時間：平日 8:30~17:30

*脳神経外科疾患以外も、癌・難病・認知症・看取り等様々な病気を担当しております。

住所：〒065-0022 札幌市東区北22条東1丁目1-40 札幌麻生脳神経外科病院1階